

学校法人鉄蕉館財務状況について

学校法人鉄蕉館 財務統括部

◆令和元年度決算の主な概要

1. 資金収支計算書（活動区分資金収支計算書）

【法人全体】

20億4,596万円となった。

学納金、寄付金、繰越支払資金等の減収により前年度対比△1億9,240万円

【亀田医療大学】

14億1,998万円となった。

寄付金、繰越資金等の減収により前年度対比△1億1,401万円

2. 事業活動収支計算書

【法人全体】

事業活動収入は11億7,932万円となった。

前述による減収により前年度対比△9,633万円

事業活動支出は11億4,631万円となった。

前年度対比+10,354万円の費用が上回る結果となった。

当年度収支差額は△5,817万円となった。

前年度対比+9,170万円と好転したが前年度同様、赤字となった。

【亀田医療大学】

事業活動収入は7億9,028万円となった。

前年度の鴨川市からの施設有償譲渡（約4,814万円）及び寄付金収入減の為、前年度対比△6,734万円となった。

事業活動支出は7億8,246万円となった。

亀田医療大学看護学研究科新設による教育活動支出額が増加していること、看護学部の人件費増及び奨学金創設による徴収不能引当金を計上したことにより、前年度対比+7,687万円の費用が上回る結果となった。

当年度収支差額は△8,393万円となった。

前述による収支状況の為、前年度対比△7,070万円となった。

3. 貸借対照表（令和2年3月31日時点）

【法人全体】

総資産は42億3,967万円となった。

前年度対比プラス△9,059万円

減少の理由としては徴収不能引当金等である。

総負債は11億3,869万円となった。

前年度対比△4,207万円

減少理由の大部分は長期借入金、未払金の減少によるものである。

純資産は31億98万円となった。

前年度対比プラス3,300万円

主な理由としては資産取得による第1号基本金及び第3号基本金（亀田医療大学学生支援基金）の増加によるものである。

【亀田医療大学】

総資産は31億324万円となった。

前年度対比プラス4,693万円

総負債は6億3,227万円となった。

前年度対比プラス1,306万円

増加の理由として期首に亀田医療技術専門学校2号館融資に伴う大学院への借入金部門振替等によるもの。

純資産は24億7,200万円となった。

前年度対比プラス3,391万円

主な理由としては資産取得による第1号基本金増加によるもの

法人全体の特徴として収入に関しては寄付金に多く依存している状況。今後も継続的に適正な予算執行、学生の確保、積極的な外部資金の獲得や経費節減に努め、財務基盤の安定化を目指すものとする。